

かかりつけ医認知症対応力向上研修カリキュラム

講座名（時間数）	研修内容	
I 「かかりつけ医の役割」編 (30分)	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人や家族を支えるためにかかりつけ医がきることを理解する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症であることに気づき、受け入れることができる 2 必要に応じ専門機関を含めた他の医療施設を紹介できる 3 日常的な管理（認知症に対する治療薬の管理を含む）を行う 4 必要なサービスを把握しそこに家族をつなぐことができる 5 家族の負担を理解し、経過の説明ができ、不安を軽減できる 6 家族に、望まれる対応・すべきでない対応を指導できる
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ医に対する国民のニーズ ・ 認知症の人とかかりつけ医 ・ かかりつけ医の役割 ・ 早期発見・早期対応の意義 ・ 認知症高齢者の現状 等
II 「診断と治療」編 (90分)	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症診断・治療の原則を理解する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症の初期症状や日常生活上の行動の変化を説明することができる 2 認知症の診断の方法と手順を説明することができる 3 認知機能障害への薬物療法、行動・心理症状(BPSD)に対する対応の原則を説明することができる 4 治療開始にあたって、本人・家族への対応・支援のポイントを理解している
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の診断基準 (DSM) ・ 認知機能障害と行動・心理症状 (BPSD) ・ アルツハイマー型認知症の診断基準 等
III 「連携と制度」編 (90分)	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人を支えるための医療・介護、地域が連携した生活支援の重要性を理解する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症の人を地域の連携体制で支える仕組みとかかりつけ医の役割について理解する 2 介護保険制度で利用できるサービスについて、本人・家族に説明することができる 3 成年後見制度・高齢者虐待防止法等の権利擁護の仕組みの概要を説明することができる
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「多職種連携」のかかりつけ医にとっての意味 ・ サービス担当者会議でのかかりつけ医の役割 ・ ケアマネジャーがかかりつけ医に望むこと ・ 社会福祉士・介護福祉士等の役割 ・ 専門医がかかりつけ医に望むこと ・ 認知症サポート医の機能・役割 等